

## 第 66 回東日本医科学生総合体育大会 を終えて

杏林大学医学部 学生会長 5 年 高橋 渉

杏林大学では一昨年秋より、先生方と学生会で協議を行いながら部活動を段階的に再開し、今年度は新入生歓迎会を開催するなど、従来の部活動の形に戻りつつあります。一方で部活動の集大成である東医体は 2020 年度より 3 大会にわたり、新型コロナウイルス感染症の影響で中止や縮小開催が続いていました。そして満を持して 2023 年度、4 年ぶりの東医体全面開催となりました。

各団体からの大会報告などを紹介します。

### 柔道部



第 66 回東日本医科学生総合体育大会が 8 月 10 日(木)、11 日(金)に講道館(東京都文京区)で開催されました。今大会には 26 校、212 名が参加し、その頂点を目指して熱戦が繰り広げられました。杏林大学医学部柔道部は団体戦で準優勝を果たし、個人戦では 3 名がメダルを獲得しました。医学部医学科 5 年内田真聖が 60kg 級で第 3 位、保健学部救急救命学科 3 年中山祥が無差別級で準優勝、同学科 2 年清水柊人が無差別級で第 3 位の結果でした。

団体戦の決勝戦では東海大学に惜敗しましたが、団体戦のメンバーをはじめ、部員一同が全力を尽くして善戦しました。

杏林大学柔道部の練習は週に 2 回松田進勇記念アリーナの柔道場にて行っています。この道場は非常に綺麗でエアコンも完備しているのでとても快適な環境で練習することができます。また、部員の半数は大学から柔道を始めた初心者ですが、しっかりと練習をこなせば団体戦のメンバーになることが可能で、部の代表として戦うことができます。そして、部員数は多くの大学の医学部柔道部より人数は多いです。このような環境は、他の大学と比較すると非常に恵まれていると思います。そのため、この環境を有効に活用して 11 月にあります次大会の関東医科大会に向けて引き続き稽古に励み、部員一同精進して参ります。

柔道部主将 平川 知宏(3 年)

## 陸上競技部



### 【東医体報告】

日程：8月10日、11日

今年度は、群馬県小田醤油スタジアムにて陸上競技の東医体が開催されました。1年生男子が1500m、5000m、走幅跳び、三段跳び、2年生女子が100m走、3年生男子が走高跳びに出場しました。3年生の磯田成海さんが走高跳びで優勝というすばらしい結果でした。表彰台の真ん中に立つ磯田さんの姿を見て、他のメンバーもこれからの練習をより一層頑張ろうという気持ちになりました。

部員数が少なく、練習場所の確保もなかなか難しい状況ではありますが、これからも地道に真面目に練習に励んでいきたいと思えます。

陸上競技部部長 櫛野 仁香（2年）

## アーチェリー部



第35回全日本医学部アーチェリー大会は8月7日、8日に兵庫県で開催されました。非常に暑い中での大会でしたが、部員が一丸となって挑みました。シニアクラスは2年生以上のクラス、ジュニアクラスは1年生のクラスです。少ない練習時間の中でこれだけの人数が表彰式に上がったのはすごいことだと思っています。

### 【第35回全日本医学部アーチェリー大会成績】（入賞し表彰式に上がったものを報告します）

団体男子 3位

団体女子 3位

個人シニアクラス男子 2位、4位、6位

個人シニアクラス女子 2位、6位

個人ジュニアクラス男子 7位



※アーチェリーはエントリー数が少ないため東医体は存在せず、全医体（全日本医科学生体育大会王座決定戦）として開催

### 【部活動紹介】

我々アーチェリー部は勉強との両立を考え、代々自由にゆるく活動しています。本部活は去年50周年を迎え、部員も今まで以上に増えています。全国的に見ても、医学部では珍しい運動部だと思いますし、弓を持っている姿はとてもしっかりしています。体力はあまり必要ないので、大学から運動部に入ってみようという考えの方にはいいかもしれません。

アーチェリー部部長 田中 瑠（3年）

## 端艇部



### 【東医体報告】

私たち端艇部は、8月11、12日に茨戸川漕艇場(北海道)で開催された第66回東日本医科学生総合体育大会ボート競技に男子ダブル (KRIEGER)・女子ダブル (REGINA)・男子新人フォア (ORIENTIS) の3種目で出場いたしました。そのうち、女子ダブルでは決勝に進出し、4位という成績を修めることができました。

1年生は全員未経験からボートを始め、限られた練習期間で大会に出場するのは困難なこともありましたが、我々なりに地道に重ねてきた練習の成果を発揮できたと思います。

ボートの最大の魅力は、クルー全員で団結し、息を合わせて漕ぐ一体感です。体の傾け方から指先の細かい力加減まで、全てが揃った時の一体感は格別です。本大会及びそのための練習期間を経て、その魅力に改めて気付かされ、互いに励まし合いながら同じ目標に向かって突き進んでいく素晴らしさを実感しました。

本大会で得た学びや反省点を活かし、来年の東医体並びにその他大会に向け、部員一同邁進していきます。

今後とも変わらぬご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

端艇部主務 中村 隆成(4年)

## バドミントン部



### 【東医体報告】

日程：8月12日(土)～8月16日(水)

会場：神奈川県横須賀市 横須賀アリーナ

東医体には部員45人が参加しました。団体戦は、男女ともにベスト16。個人戦は、男子はM6島田とM5太田のダブルスがベスト8、M6島田のシングルスがベスト32、M5太田のシングルスがベスト64。女子はM6坂路・霜山のダブルスがベスト8、M6霜山とM3木村のシングルスがベスト8、M1大塚のシングルスがベスト32、M6坂路のシングルスがベスト64でした。1～4年生にとっては初めての、6年生にとっては最後の東医体で緊張感がありましたが、各試合に部員が一丸となって選手を応援しました。今回の東医体を通して見つかった課題を修正し、次の大会で1つでも多く勝つために部全体として頑張っていきたいと思います。

### 【部活動紹介】

部には医学1～4年と看護1～4年の合計48人が在籍しています。未経験者は部員の8割を占めていますが、経験者が指導にあたるので1年もすれば公式戦で試合ができるようなレベルまで上達します。上達したいと思う部員が多く、切磋琢磨しながら練習しています。練習内容は基礎練から応用練まで多岐に渡り個人にあった練習をしているのもこの部活の特徴の一つです。また他校との横のつながりもあるので、試合前には練習試合などによる実践さながらの練習も行うことがあります。

バドミントン部主将 木村 理沙乃(3年)

## バレーボール部



### 【東医体報告】

8月1日から4日に埼玉県越谷市立総合体育館にて4年ぶりに第66回東医体が開催されました。試合結果は下記の通り男女共にグループリーグを突破し、決勝トーナメントに進みましたが男子がベスト16、女子がベスト8という結果になりました。3年生以下は初めての東医体、6年生は4年ぶりで最後の東医体となりましたが、選手全員が日々の練習の成果を発揮し、最後まで戦い抜くことができましたと思います。

この度東医体を開催するにあたって地域の皆様方、杏林大学医学バレーボール部の先輩方には大変お世話になりました。今後ともバレーボール部の活動に更なるご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます、あわせてお礼申し上げます。誠に有り難うございました。

<男子>

グループリーグ

- vs 弘前 (25-9,25-19) ○
- vs 帝京 (25-20,25-19) ○
- vs 日医 (22-25,27-25,19-25) ×
- vs 自治医 (22-25,23-25) ×

決勝トーナメント一回戦

- vs 新潟 (25-23,19-25,10-25) ×
- ベスト16敗退

<女子>

グループリーグ

- vs 国際医療福祉 (25-10,25-5) ○
- vs 昭和 (25-7,25-14) ○
- vs 横市 (25-15,26-24) ○

決勝トーナメント一回戦

- vs 秋田 (25-12,17-25,25-14) ○
- 二回戦
- vs 東邦 (17-25,13-25) ×
- ベスト8敗退



広報 山根 拓巳 (3年)

## 卓球部



### 【東医体報告】

8月7日～10日、千葉県流山市キックマンアリーナにて第66回東医体卓球競技が行われました。東医体は4年ぶりの開催で4年生以下の選手は初めての参加となりました。

結果は、女子団体がベスト8、女子シングルスでは江下さん(6年生)がベスト8、女子ダブルスでは伊藤・江下ペア(6年生)がベスト8でした。

多くの選手が初めての大会ということで緊張している様子が見られました。勝利を掴んだ後の喜びと安堵の笑顔が印象的でした。試合後には相手選手とアドバイスし合い交流を深めていました。各々、成長と課題を見つけ秋の大会に向けて引き続き練習に励んでいます。

現在、卓球部は女子26人、男子8人の34人が所属しています。女子が過半数を占めており女子は大変入りやすい部活となっています。もちろん男子也大歓迎です。

卓球部主将 進藤 晃仁(4年)

## バスケットボール部



### 【2023 東医体報告】

日程：8月1日（火）～6日（日） 会場：長野県真島総合スポーツアリーナ（ホワイトリング）

【男子】8/2（水）第1回戦 ○杏林 69-66 秋田●

8/4（金）第2回戦 ●杏林 61-107 山形○

【女子】8/2（水）第1回戦 ○杏林 63-36 旭川医科大●

8/4（金）第2回戦 ●杏林 40-64 日本医科大○

### 【部活動紹介】

医学部・保健学部バスケットボール部は、医学部、保健学部合同の59人で、主に火・木・土曜に松田進勇記念アリーナで活動をしています。テストや課題で忙しい中でも、上手く両立をして練習に励んでいます。初心者も数多く在籍し、経験者の指導を受け、共に練習する事で徐々に成長し、試合での活躍も見られます。

東医体では、長野県の会場まで保健学部の部員が応援に駆けつけてくれ、学部、学年を越えて非常に仲が良く、楽しくバスケットボールをすることのできる部活動です。

バスケットボール部 男子部主将 磯田 成海（3年）

女子部主将 小野崎 優衣（3年）

## スキー部



### 【東医体報告】

日程：2023年3月1日～3月6日

会場：北海道旭川カムイスキーリンクス

本学からの参加者数は8名。

女子SG（ジャイアントスラローム）3位、GS（スーパー大回転）5位

### 【部活動紹介】

こんにちは！私たちスキー部ではオンシーズンに長野県の菅平で合宿を行い、プロのコーチによる指導の下基礎練習とポールを用いた実践練習を行っています。またタイマーを用いて実際にコースを滑り切るまでのタイムを計測する練習も行うので、上達したことが分かりやすく、モチベーションが上がること間違い無しです。オフシーズンでは毎週月曜日と木曜日に活動を行っています。内容はラダートレーニングや縄跳び、ランニング、体幹トレーニングなど、合宿と東医体に向けた基礎体力づくりです。和やかな雰囲気で行っており、初心者でも馴染みやすいのがスキー部の特長です。また兼部も可能であり、実際に兼部している部員も多くいます。私たちと一緒に、スキーを思い切り楽しんでみませんか？

スキー部 白石 大雅（3年）

## サッカー部



### 【東医体報告】

日程：2023年8月4日、5日（4日：対日本医科大学、5日：対日本大学医学部）

会場：新潟聖籠スポーツセンターアルビレッジ人工芝Dグラウンド（新潟県北蒲原郡）

今年の東医体はコロナ明け初めての開催だったこともありサッカー部一同様々な思いを持って大会に臨みました。しかし、2023年東医体ではグループステージ敗退となってしまう、トーナメントステージに進むことは叶いませんでした。残念な結果にはなりましたが、この経験を大切に、より強いチームとなって来年帰ってきたと思います。この大会を節目に幹部交代そして6年生の引退が行われ、新チームが9月から始動することになります。10月から始まる秋大会に向けてチーム一丸となって挑んでいきます。

### 【部活動紹介】

私たちサッカー部は主に月、水、金で活動しており、プレーヤーそしてマネージャー共に楽しく部活に取り組んでいます。シーズンを通して3つ（秋大会、春大会、東医体）に参加しています。特に東医体は1年間の集大成の大会であり、ここで良い結果を出せるよう日々取り組んでいます。

サッカー部（東医体時：主務、秋以降：主将）向井 佳（3年）

## 準硬式野球部



### 【東医体報告】

日程：8月3日、8月4日

会場：伊勢崎ガスあずまスタジアム（群馬県伊勢崎市）

今回の東医体は、群馬県で開催され、結果は2回戦敗退でした。来年は、2回戦突破を目指して頑張ります。

### 【部活動紹介】

私たちの練習日は、火曜日、木曜日、土曜日の週3回です。土曜日には、リーグ戦や他校との練習試合もあり、楽しく頑張っています。

準硬式野球部主将 苅田 昌士（2年）

## ハンドボール部



### 【第 66 回東医体ハンドボール部門結果報告】

1 回戦 vs 秋田大学 勝利 26-24 (12-11/14-13)

2 回戦 vs 旭川医科大学 敗北 21-26 (8-14/13-12)

下位トーナメント vs 日本医科大学 敗北 22-24(11-8/11-16)

8 月 1 日から 3 日に渡り、東京都の隅田区総合体育館にて東医体が開催されました。

東医体での勝利を目標に 1 年間日々練習を積み重ねてきましたが、結果としては残念ながら 2 回戦敗退ととても悔しいものになってしまいました。しかし、前回大会の優勝校である旭川医科大学などの格上の相手に対して体格やスピードで劣る中、後半の最後まで手に汗を握るような接戦を繰り広げ、去年と比べチームや個人としての成長を感じることが出来た大会となりました。

また、この大会をもって 4 年生から 3 年生へ幹部交代となりました。4 年生が築いた団結力のあるチームを率いる責任を感じてはいますが、今大会での悔しさをバネに勝ち進むチームを目指し精一杯やらせて頂きます。

最後に、杏林ハンドボール部を応援に来てくださった皆様、本当にありがとうございました。今後も皆様の心に残るような試合が出来るよう日々精進して参りますので新体制後も応援よろしくお願ひします。

三鷹ハンドボール部主将 小山 祐希 (3 年)

## フットサル部



### 【東医体報告】

日程：7 月 30、31 日

会場：ミズノフットサルプラザ味の素スタジアム (東京都調布市)

今年度開催された東医体は、男子は下位トーナメント、女子は決勝トーナメント進出となり男女ともに目標にしていた優勝には届きませんでした。

今回の東医体での結果を受け止め、チーム、個人として足りない部分を日頃の練習で身につけていきたいです。

フットサル部部长 帯刀 海人 (3 年)

## 剣道部



## 【第66回東医体】

剣道は8月2日に団体戦、8月3日に個人戦が桜上水の日本大学にて行われました。これに備え、剣道部では東医体前に4日間の稽古を行いました。4年ぶりの開催ということもあり、選手たちの目には普段の季節大会にも増して勝利を目指す気迫が感じられます。

さて、場面は移って団体戦の朝。直前に若干のメンバーチェンジを経て5人の選手が試合場に並びました。ここで、剣道という競技について紹介します。剣道の試合では、紅白のたすきをかけた選手が1対1で戦います。3本勝負で、先に有効打突いわゆるメン・コテ・ドーを2本取った方が勝利する形式です。試合時間は大会により異なりますが、今回は3分。この3分の間に2人の選手による誘いと攻め、そしてそれを受けた相手のさらなる攻めが拮抗し、片方のほんの少しの際に一本の打突が入るのです。

身体を使って相手を誘うだけでなく、精神的にも両者が攻めあう試合風景には観客も目が離せません。特に団体戦はチームプレーの重要さが伝わる試合です。団体戦では、各試合で試合場に入る人数こそ両チーム一人ずつですが、5人のうちの勝った人数から最終的な団体戦の勝ち負けが決まるので、各自の責任は重大です。だからこそ、選手1人1人が一本に笑い、1本に泣く場面が生まれます。これを共に喜び、励ましあい、次の選手につなげていく。この麗しさに団体戦の魅力があるといえます。

杏林大学剣道部の戦績はベスト16。普段の季節大会ではとても届くことのなかった好成績です。直前の稽古量、そして4年ぶりの東医体に向けての熱のこもったOBコーチによる指導のたま物でしょう。続く8月3日の個人戦でも五年生の学生が勇ましく勝ち上がり、部員たちを沸かせました。東医体での選手の雄姿は必ずや来年の東医体に向けてのモチベーションとなり、剣道部の新しい歴史へとつながるでしょう。まだまだ感染症の影響でさまざまな制限や不自由なことがある中で東医体が開催されたことをとても嬉しく思います。第66回東医体の開催にご尽力されたみなさま、本当にありがとうございました。

## 【医学部剣道部へようこそ】

医学部剣道部は松田進勇記念アリーナ奥の剣道場にて、水・金曜の18:00から約1時間半活動しています。中学校や高校の一般的な剣道部と比べるとかなり落ち着いた雰囲気の一部活内容です。このこともあって、「高校から引き続き剣道が続いています。」といった部員もいれば、「中学以来三年ぶりです。」「剣道経験のない初心者です!」という部員も在籍しており、一人一人に合った稽古を行っています。

この一人一人にあった稽古を可能にするのが、毎回の稽古に参加するOBコーチの存在です。初心者にも経験者にもコーチが的確な指導を行い、学生同士では気づけない修正点が見つかるのです。

医学部剣道部は今年から医学部・保健学部両学生とも参加可能となり、とても入部しやすくなりました。ご興味ありましたらぜひ剣道場までお越しください!

剣道部 吉田 遼馬 (2年)

## 軟式テニス部



### 【東医体報告】

日程：8月2日～8月8日

会場：軽井沢風越公園テニスコート（長野県北佐久郡）

軟式テニス部の東医体の結果は、団体戦は予選リーグ敗退、個人戦は1ペアがベスト16、という結果になりました。4年ぶりの東医体だったため戸惑うところもありましたが、大会は活気があり部員一同楽しめたと思います。団体戦の結果は喜べるものではありませんでしたが、一試合一試合考えることが多く、負けてはしまいましたが得るものが多いものだったと思います。個人戦では初戦敗退してしまうペアもありましたが、勝ち残ったペアの応援をし、個人戦ではありますが部員全員で戦い抜くことができ、団結力がさらに増したと思います。

軟式テニス部は年内に新人戦、秋リーグの2大会が残っています。新人戦は1から3年生の大会であるため、今までの練習の成果を存分に発揮し、多くのペアが勝ち残れるように日々の練習を頑張っていきたいと思います。また秋リーグでは、現在杏林大学は男子女子ともに4部リーグに属しているため、一つでも多く勝利し3部リーグ昇格を目指して東医体と同等か、それ以上に部員一同一致団結して大会に臨みたいと思います。

軟式テニス部主将 山中 聡（3年）

## 硬式テニス部



### 【東医体報告】

日程：7月30日～8月3日（東医体は8/2）

会場：山梨県山中湖村 東照館テニスコート

私たちは、東医体開会式の3日前に前乗りして事前合宿を行い、そして本番を迎えました。男子2-3、女子1-2で惜しくも負けてはしまいましたが、男女ともに最後まで諦めず心折れそうになっても勝ちにこだわり続け、大きく成長できた期間になったと感じています。また選手でない部員たちも事前に集まってルールを確認していたりと最善の審判ができるように努力してくれている姿を何度も目にしました。

東医体で気づくことができた今後の課題を練習メニューに取り入れ、来年度のリーグ戦・東医体で成長した姿を一人一人実感できるように、日々邁進していこうと思います。部員数は少ないですが、それをマイナスと捉えるのではなく、練習メニューを皆で工夫したり、縦横関係なく仲の良い部活というプラス面に変えてきました。これからも学年関係なく、良きライバルとして、良き仲間として活動していこうと思います。

硬式テニス部主将 中川 瑞葵（3年）

水泳部



【東医体報告】

第66回東日本医科学学生総合体育大会が8月8日(火)、9日(水)に長野県の長野運動公園総合運動場総合市民プール(アクアウィング)にて開催されました。実に4年ぶりとなる最大規模の開催であり、数多くの参加校が日々の練習の成果を発揮する場となりました。

以下に、優秀者の成績を記載します。

- ・加藤 大貴(5年) 男子50m バタフライ 3位
- ・加藤 大貴(5年) 男子100m バタフライ 2位
- ・千葉 暉久(6年) 男子200m 平泳ぎ 7位
- ・片塩 陽里(5年) 女子200m 個人メドレー 1位
- ・片塩 陽里(5年) 女子200m 自由形 2位

これからも大会に向けて部員一同、練習に励んで参ります。

【部活動紹介】

私たち水泳部は初心者から経験者までが在籍し、前期は月、水、木曜日、後期は月、木曜日に練習を行っています。「オン」と「オフ」の切り替えを大切に、勉強、部活、バイトなど多くのことを両立できるような部活となっています。学年を越えて部員同士が仲良く、日々楽しく練習に取り組んでいます。

主将 荻野 修平(3年)